

【国語】

試験時間は50分

傾向・設問形式は昨年と同じ

説明的文章と物語的文章（あわせて7800字程度）

100字以下の記述問題を2問程度（部分点あり 必ず挑戦を！）

トメ・ハネは見ない 誤字・脱字は減点

言い換え・原因理由・空欄補充

漢字は独立した問題（トメ・ハネも丁寧に）「美しさ」より「丁寧さ」

【ワンポイント・アドバイス】

50分間の使い方 時間配分が大切

記述、選択肢問題に対する解法の確立が大切

本文中から答えとなる文を発見しよう

記述すべき事柄は必ず3つ程度ある

選択肢を分割して考えてみよう

平成17年以降の過去問が大切

【算数】

試験時間は50分

大問6題 設問数は15題程度

計算問題

文章題

フリーハンドで図形をかく問題 線は太く丁寧に書く

空間図形に関する問題

コンパス・定規・分度器は必要ありません

【ワンポイント・アドバイス】

計算力 毎日計算練習をする

文章読解力 条件や聞かれていることを正確に理解する

万遍なく学習し標準問題を確実に解くことができる実力をつける

過去の問題をしっかりと勉強しましょう

【社会】

試験時間は40分

配点：歴史（約50点）今までに出題されていないテーマ

公民（約20点）過去に繰り返し出題されているオーソドックスなテーマ

地理（約30点）時事的なテーマ、歴史融合問題、

統計資料などの表を読み解く問題

記述問題も出題

【ワンポイント・アドバイス】

問題数は約50問

「漢字で書きなさい」などの指示に従うこと

記述問題もある

出題形式に大きな変更はないので過去問をしっかりとやること

【理科】

試験時間は40分

全分野からの出題

大問7題以上、設問数30題前後

物理2 化学2 生物2 地学1

力の問題 溶液の問題は必ず出題

計算問題は小数で答え、割り切れない計算にも慣れておくこと

説明問題（長い文章での説明ではないので、簡潔に表現、的確にまとめる）

【ワンポイント・アドバイス】

平均点が60点になるように作成

計算を楽しみ、論理を楽しむ

過去問を研究する

【帰国生入試】

出願資格

2014年3月小学校を卒業見込の者

もしくはこれに準ずる学校を卒業見込の者

海外における滞在期間が1年以上で、帰国後受験まで3年以内の者

試験日程・科目

2014年12月13日（土）

試験科目：国語・算数・英語A・英語B

2015年 1月20日（火）

型の試験科目 国語・算数・社会・理科

* 国語・算数・理科・社会の問題は一般入試と同じ問題

型の試験科目 国語・算数・英語A・英語B

* 国語・算数の問題は一般入試と同じ問題

【ワンポイント・アドバイス】

英語A（40分）

長文読解問題2題：英検2級程度

英語B（40分）

英作文：スペル、文法ミスは減点対象 文章の整合性、論理展開をみる

【中学第1回（メッセ）入試注意事項】

会場には時計がありませんので、時計を持ってきて下さい。

トイレはたくさん準備してあります。

鉛筆でもシャープペンでもOKです。

休み時間には気分転換のために飲食しても構いません。

保健室も用意してあります。

保護者控え室もあります。

退場は受験番号順になります。全体の退場は約35分ぐらいです。

お子様と待ち合わせ場所を決めておいて下さい。